



2022年度親子森林教室最終回&修了式の報告



最後のテーマは・・・「森の春の目覚めを感じ1年間のまとめをする」
天気よくて森は光に溢(あふ)れてましたね。樹液(じゅえき)の味はどうだった？

樹液採取(じゅえきさいしゅ)

木が樹液を出す理由(りゆう)を学んだあとは、実際にイタヤカエデから採取するための器具(きぐ)を取り付けたり、用意(ようい)されていた二種類(しゅるい)の樹液も味(あじ)わいました。採ったままの樹液は少し甘く、シロップ状(じょう)はこってり甘い！また「冬芽(ふゆめ)」についても学びましたネ。



↑ ドリルで採取用の穴(あな)を開ける



↑ タンクにつなぐホースを取り付ける



↑ 取り付け作業(さぎょう)

2022年度 第7期 親子森林教室

森しり隊修了式



△お祝いのくす玉割



△櫃棒代表幹事より修了証授与



△隊員の感想文披露



△保護者の感想文披露



△隊員の感想文披露

一人ずつ一年間の「思い出」を綴(つづ)った感想文を発売してもらいました。
そして最後に・・・森の木(ホオノキ)で作った特製の修了証楯(たて)と手作りリースが贈られました。



【第7回親子森林教室で出された質問に答えます】

①どうして陽の当たる場所の木の樹液(じゅえき)が多いのですか？ (阿部瑛斗君の質問)

→陽(ひ)がよく当たる木は日陰(ひかげ)にある木にくらべて枝ぶりもよく、生長するのが盛(さかん)なために多くのエネルギー(樹液)を必要としているからです。

②毒のある樹液はありますか？ (小林桂子さんの質問)

→南の地方にあるガジュマルの木は切ると白い樹液が出てくるそうです。

この液には弱い毒性(どくせい)があり、肌(はだ)の弱い人が直接接触(さわ)ると肌がかぶれてしまうことがあるそうです。

澄川環境林にもあるツタウルシやヤマウルシにかぶれる人もいますから、これらのツルや木の樹液も毒性があると言えます。

③松ヤニは樹液ですか？ (木下一茶君のお母さんの質問)

→松ヤニも樹液の一種で、樹液の中の揮発性(きはつせい)成分(せいぶん) (蒸発(じょうはつ)しやすい成分)が揮発した後に残った固形の物質 (天然(てんねん)樹脂(じゅし)) です。漆塗(うるしぬり)で使う漆(うるし)もウルシノキの樹液から作られる天然樹脂の塗料(とりょう)ですし、天然ゴムもゴムノキの樹液から作られます。